

県立高等学校教育改革第二次実施計画に基づく対象校等について

I 平成２３年度入学者選抜における特色選抜の実施校

新たに実施する高等学校

（神戸第三学区）県立舞子高等学校

（西宮学区）県立西宮北高等学校

（丹有学区）県立三田西陵高等学校

（明石学区）県立明石清水高等学校

（西播学区）県立赤穂高校、上郡高校、山崎高校、伊和高校

（北但学区）県立出石高校

（南但学区）県立村岡高校

（淡路学区）県立洲本高等学校

特色ある類型を変更する高等学校

（姫路・福崎学区）県立家島高等学校

II 特色ある専門学科の設置

（対象校及び学科）県立尼崎小田高等学校 国際探求学科（仮称）

（設 置 年 度）平成２４年度

III 分校の本校化に伴う校名

（校 名） 県立篠山東雲高等学校（仮称）

（改編年度） 平成２３年度

I 平成23年度入学者選抜における特色選抜の実施について（概要）

1 特色選抜について

(1) 趣 旨

- ・ 生徒が自らの能力・適性、興味・関心等に応じて、学びたいことが学べる学校選択を行うことを支援するため、全日制普通科のうち教育課程や学びの内容等において特色ある学校づくりが進んでいる学校で、その特色ある教育内容に即して、特色選抜を実施する。
- ・ 高等学校が、その特色に応じて受検生のさまざまな個性や能力を多面的に評価する。

(2) 実施校

- ・ 複数志願選抜を実施する学校のうち、特色化の進んだ学校。（コース等を持つ学校は除く。）

(3) 募集定員

- ・ 各学校の募集定員の15%以内とし、その割合は高等学校長が定める。ただし、最大は40人とする。
※ 県立家島高等学校においては、特例として募集定員の50%（20人）を募集する。

(4) 通学区域

- ・ 普通科の学区とする。
※ 県立家島高等学校においては、特例として県下全域から募集する。

(5) 選抜方法

- ・ 面接を実施し、学校によっては実技検査、小論文（作文）も実施可能

2 導入学区について

- ・ 平成23年度より全学区に導入。

3 実施校数について

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
実施校数	4	6	12	17	21	28	37	45	55
複数志願導入学区	神戸第三		姫路・福崎	加印	北播	尼崎 明石	西宮 伊丹	神戸第一・芦屋 神戸第二 宝塚	西播

※ 平成23年度は複数志願選抜を導入していない4学区も含め16学区全てで実施

※ 全日制普通科設置 95校

※ 全日制普通科におけるコース設置 23校

4 新たに実施する学校及び特色類型名について（特色ある類型を変更する学校を含む）

- ・ 神戸第三学区 ・ ・ ・ 舞子高校（先進理工）
- ・ 西宮学区 ・ ・ ・ 西宮北高校（科学探究・社会探究）
- ・ 丹有学区 ・ ・ ・ 三田西陵高校（子どもみらい）
- ・ 明石学区 ・ ・ ・ 明石清水高校（人と環境）
- ・ 西播学区 ・ ・ ・ 赤穂高校（総合科学探究）・上郡高校（生命科学探究）・山崎高校（文理科学）・伊和高校（人間環境）
- ・ 北但学区 ・ ・ ・ 出石高校（文理探究）
- ・ 南但学区 ・ ・ ・ 村岡高校（地域創造）
- ・ 淡路学区 ・ ・ ・ 洲本高校（総合探究）
- ・ 姫路・福崎学区 ・ ・ ・ 家島高校（海と科学、海と人間）

平成23年度入学者選抜における特色選抜の実施校

1 新たに実施する高等学校

(1) 神戸第三学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立舞子 高等学校	先進理工類型： 理工系の幅広い分野における大学等の最先端の研究施設と連携した実践的な講義・演習等の体験活動を通して、自ら学び課題を解決しようとする力を育成すると共に、積極的に自己実現を図る人材の育成を図る。 特色ある科目：「アドバンススタディズⅠ・Ⅱ・Ⅲ」

(2) 西宮学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立西宮北 高等学校	科学探究・社会探究類型： 研究機関・大学の研究室への訪問学習や出前講義等を通して、問題解決能力の育成に努めるとともに、将来、国内外の多彩な分野で、学問の発展や社会に貢献することができる人材の育成を図る。 特色ある科目：「解析基礎」「科学研究」「国際事情研究」

(3) 丹有学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立三田西陵 高等学校	子どもみらい類型： 将来、教育に関する職に就くことを目指す生徒を対象に、幼稚園や小学校での現場実習や大学教授による講義等を通して、教師としての人間力を育て、夢の実現に向けて高い意欲と実践力をもつ生徒の育成を図る。 特色ある科目：「教育入門Ⅰ」「教育入門Ⅱ」

(4) 明石学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立明石清水 高等学校	人と環境類型： 地域と連携した清掃ボランティアや花の回廊作戦等への参画を通して、自己と他者、社会・環境との関わりを意識し、将来、地域・社会に貢献できる人材の育成を図る。 特色ある科目：「くらしと環境」「こころと環境」「人とスポーツ」

(5) 西播学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立赤穂 高等学校	総合科学探究類型： 地元の企業と連携した工場見学・実験・講義や近隣大学の専門的な特別講義などを通して、自然科学に対する関心を高めるとともに、科学について主体的に研究する姿勢をもつ人材の育成を図る。 特色ある科目：「科学探究Ⅰ」「科学探究Ⅱ」
県立上郡 高等学校	生命科学探究類型： 園芸科のバイオテクノロジー関連施設を活用した実験・観察や、少人数による課題研究を通して、生命や科学の理解を深めるとともに、科学技術を活用して社会に貢献する人材の育成を図る。 特色ある科目：「生命科学」「環境科学」「理科課題研究」等
県立山崎 高等学校	文理科学類型： 大学教員、地域の人材等による特別授業・講演や、ディベートやディスカッションを取り入れた学びを通して、人文・社会科学、自然科学を主体的に学び、総合的な学力を培い、将来、地域を担う人材の育成を図る。 特色ある科目：「文理科学基礎」「文理科学探究」
県立伊和 高等学校	人間環境類型： 人間の文化的な営みや自然と人との関わり、自然環境の保全等の学習を通して、地域や日本の歴史・文化、人間と自然の共存について探究する態度を養い、将来の地域活性化に貢献する人材の育成を目指す。 特色ある科目：「日本の文化」「環境科学」「自己表現」等

(6) 北但学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立出石 高等学校	文理探究類型： 興味を持った職業の探究や、但馬地域を拠点に活躍する人物や団体についての学び、近隣機関と連携した地域社会の諸課題の考察を通して、将来的な地域社会のリーダーとなる人材の育成を図る。 特色ある科目：「文理探究Ⅰ」「文理探究Ⅱ」

(7) 南但学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立村岡 高等学校	地域創造類型： 但馬の企業経営者や大学教授による特別講義など、但馬の自然、文化、風土等についての学習を通して、ふるさとに誇りを持ち、将来、但馬地域に貢献できる人材の育成を図る。 特色ある科目：「地域探究Ⅰ」「地域探究Ⅱ」

(8) 淡路学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立洲本 高等学校	総合探究類型： 大学・研究機関への訪問や出前授業等による最先端の科学・研究成果を学ぶ機会を通して、様々な分野で物事を科学的に考え、課題を解決することができる資質と創造性を持ち、地域貢献できる人材の育成を図る。 特色ある科目：「数学探究」「理科探究」「人文探究Ⅰ」「人文探究Ⅱ」等

2 特色ある類型を変更する高等学校

(1) 姫路・福崎学区

実施高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立家島 高等学校	海と科学類型、海と人間類型： 県立いえしま自然体験センター等と連携した授業や体験活動を実施し、将来、水産・海洋科学・環境・社会学・人間科学等の分野への進路実現を目指すとともに、地域の活性化に貢献できる人材の育成を図る。 特色ある科目：「海の生物」「海洋科学」「海洋スポーツ」「環境科学」「健康福祉科学」等

学 校 名	県立舞子高等学校
特 色	本校は「誠実 健全 親愛 勤勉」の校訓のもと、人格の陶冶をはかり、みずみずしい感性を備え、知・徳・体の調和のとれたところ豊かな人間の育成を目指している。 このため、夢と志を抱き、生涯にわたって学ぶ意欲と未来を切り拓く強い意志を持ち続け、社会の変化に対応して自ら考え行動できる力の育成をめざした特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 理工系の基礎となる幅広い分野において、大学や企業の研究施設と連携した実践的な講義や演習、実践等の探究活動を通して、自己実現を図るとともに、将来理工系の分野において世界で活躍する人材の育成をめざし、第1学年から先進理工類型を設置する。 (2) 「先進理工類型」の特色 ① 第1学年、第2学年で学校設定科目「アドバンススタディーズⅠ・Ⅱ」を設置し、高大連携、学社連携のもとに、大学や企業の様々な研究に触れるとともに、興味・関心のある分野の理解を深める。 ② 第3学年では、さらに発展的な内容を学ぶ「アドバンススタディーズⅢ」を設置し、大学や企業の研究施設と連携し、実践的な講義や演習を通して、課題解決の方法を学ぶ。また、理工系の基礎となる分野での指導を受けながら、将来自分が取り組もうとする課題の発見につとめ、その課題に取り組むための進路実現を図る。 2 総合的な学習の時間 次の3つのテーマについて複合的に学ぶ。 ・国際社会に生きる人材を育成するため、国際理解教育全般にわたる基礎知識を身につける「国際理解」 ・環境防災科との連携で、阪神・淡路大震災から学んだ貴重な教訓を生かし、自ら学び自ら考える力を育成する「防災教育」 ・社会で生きていく上で必要な力を養い、自らの生き方を探り、自己実現を図る「進路学習」 3 特別活動・部活動等 (1) 阪神・淡路大震災の教訓を引き継ぐ1.17震災メモリアル行事や生徒会主催の文化祭、地域と連携した学が丘コンサート等多彩な行事を実施している。 (2) 県下で数少ないウェイトリフティング部（国際大会出場）やアーチェリー部（全国大会出場）を始め、運動部21部と文化部12部が活発な活動を行っている。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒。 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、理系分野に興味のある生徒。 3 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、将来理工系の分野において世界で活躍する夢を持っている生徒。
その他の取り組み	1 大学と連携した講座を開設する。 2 地元企業と連携した体験活動を実施する。

学 校 名	県立西宮北高等学校
特 色	本校は、建学の精神を校是「生活は質実 素朴に 心は高く 豊かに」とし、知・徳・体を厳しく磨き、確かな学力と豊かな心を育み、社会の発展に貢献する人材の育成を目指している。 このため、阪神間を一望する風光明媚な恵まれた教育環境を活かし、将来、科学分野、社会分野をはじめ多彩な分野で、国内外のリーダーとして活躍できる生徒の育成を図るとともに、豊かな人間性を育て、生徒一人一人の「夢」をかなえる特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 将来、科学分野、社会分野をはじめ国内外の多彩な分野で、学問の発展や社会に貢献したいと考えている生徒を対象に、第1学年から「科学探究・社会探究類型」を設置する。科学的探究心・問題解決能力・コミュニケーション能力等社会の変化に柔軟に対応する力の育成を図る。 (2) 「科学探究・社会探究類型」の特色 ① 第1学年では、社会や科学の仕組みを探究する基礎となる学校設定科目「解析基礎」を設置し、論理的思考力の醸成を図る。また、大学等の特別講義を通して意欲の喚起、問題解決能力の育成に努める。 ② 第2学年では、興味・関心及び進路希望に応じて学校設定科目「科学研究」、「国際事情研究」のいずれかを選択して学習し、科学的探究心やコミュニケーション能力を育み、社会の変化に柔軟に対応する力を養う。 ③ 研究機関、大学の研究室への訪問学習や出前講義、集中実験等を実施し、社会や科学の仕組みを探究するモチベーションを高め、将来必要とされる学力の向上を目指す。 2 総合的な学習の時間 (1) 第1学年（2単位）では、「自己実現をめざして」をテーマに自己理解を深め、科学的分析力の育成を図るとともに、「国際理解をめざして」をテーマに異文化理解や日本文化を紹介する力を育成する。 (2) 第2学年では第1学年で学習した「自己実現をめざして」を継続し、ティームティーチングで、生徒一人一人の興味・関心及び適性等に応じた進路学習を行う。 3 特別活動・部活動等 (1) 文化祭や体育大会等の学校行事は、生徒が主体的に企画・運営に取り組んでいる。 (2) 地域貢献活動の一環として、地域の人とともに通学路清掃を行うとともに、地域の人と一緒にケーキづくりに挑戦するなど積極的に地域交流を進めている。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒。 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組んだ生徒。 3 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、将来に向かって自己実現を図るとともに、社会の発展に貢献したいと考えている生徒。
その他の取り組み	多様な生徒の興味・関心、進路に対応するため、習熟度別編成授業、ティームティーチング、少人数での授業等、多種多様な授業形態や選択科目を実施している。

学 校 名	県立三田西陵高等学校
特 色	本校は「自主・創造・飛翔」の校訓の下、教職員と生徒が一体となり、文武両道の精励により人格の完成に努め、生徒一人一人の個性と能力を伸長し、明朗・誠実で未来に向かってたくましく生き抜く心豊かな人材の育成を目指している。 このため、特色ある校風と伝統の樹立のために、明るく、温かく、いきいきとした学校の中で充実した学習活動を推進し、地域社会の期待に応えられる特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 将来、教育に関する職に就くことを目指す生徒を対象に、第1学年から「子どもみらい類型」を設置する。学校設定教科「教育」を通じて、行動力・向上心・コミュニケーション能力等の教師としての人間力を育て、実習や体験活動を通して夢の実現に向けて高い意欲と実践力をもつ生徒の育成を図る。 (2) 「子どもみらい類型」の特色 ① 教育者としての基礎的な資質について学ぶための学校設定科目「教育入門Ⅰ・Ⅱ」を第1学年及び第2学年に設置し、教育現場でのコミュニケーションスキル、子どもの発達心理、教材開発、授業実践について学ぶとともに、幼稚園や小学校での現場見学や実習を通じて意欲と実践力を高める。 ② 高大連携等により、大学教授等による講義や大学見学を通じて、より専門的に学ぶ機会を設ける。 2 総合的な学習の時間 (1) 第1・2学年では、職業人インタビューや職業研究、社会問題について調査・探究する活動を通して職業観を育成し、自己の進路目標を決定する。さらに、自分で調べ、考え、資料をまとめて、発表する活動を通じてプレゼンテーション力を育成する。 (2) 第3学年においては、社会や教育の課題解決にむけた課題研究に取り組む。また、外部講師による講演・講義も活用する。 3 特別活動・部活動等 (1) 西陵祭（文化祭・体育祭）は生徒会が中心に企画・運営し、生徒は合唱コンクールや展示・舞台公演などに意欲的かつ積極的に取り組んでいる。また、地元の幼稚園や福祉施設との交流も継続的に行っている。 (2) 運動部は16部あり、いずれも活発で地区大会や県大会で活躍している。8部の文化部も活発で、吹奏楽部は「ふれ愛コンサート」を通して地元住民との交流イベントを企画するなど、多くの部活動が「地域に愛される学校づくり」を目指して取り組んでいる。 (3) 「子どもみらい類型」では特に、部活動やボランティア活動への参加を推進し、教師としての豊かな人間性を養う。
生徒に求める要件	次の全ての要件を満たす生徒 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や部活動に意欲的に取り組み、教育の分野について強い興味・関心がある生徒。 3 高等学校入学後、学習や特別活動に積極的に取り組み、自己実現を図るとともに、将来は教育の分野を通して社会に貢献する意志を持っている生徒。
その他の取り組み	1 習熟度別授業・少人数授業の実施や多様な選択科目の設定により、個々の生徒の学力伸長を図るとともに、多岐にわたる進路希望に対応している。 2 夏季休業中のオーストラリア短期研修や一日看護体験など、生徒の意欲・関心を高めるための体験的プログラムを実施している。 3 オープンキャンパス参加や高大連携講座の受講の推奨など、大学との連携を進めている。

学 校 名	県立明石清水高等学校
特 色	本校は、校訓「克己・努力・協同」の精神を基調に、「青春の夢に忠実であれ！」をスローガンとして、生徒の「生きる力」をはぐくみ、清らかでこころ豊かな人材の育成を目指している。 このため、「確かな学力」を修得できる学習指導、心の通い合う生活指導、個々の適性を生かした進路指導等により、生徒の力をしっかりと伸ばすとともに、「環境」をテーマとして、地域と社会との関わりを意識した学習活動・特別活動に取り組む等、保護者・地域から信頼される特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 環境の分野に興味・関心を持つ生徒を対象に、自己と他者、社会・環境との関わりを意識し、将来、地域・社会に貢献できる人材を育成するため、第2学年から「人と環境類型」を設置する。 (2) 「人と環境類型」の特色 ① 人と環境の望ましい関係を構築し、新しい社会のあり方を探求するため、外なる環境を、身近な衣食住の視点から考える「くらしと環境」、内なる環境として自己を見つめ、理解を深めるとともに自己表現力を養う「こころと環境」、仲間作りを円滑にする「人とスポーツ」等の特色ある学校設定科目を設置する。 ② 環境向上の取組みとして地域と連携した「清掃ボランティア」「花の回廊作戦」等体験活動への参画を通して、広い視野と問題解決能力を養う。 2 総合的な学習の時間 (1) 第1学年では、職業調べをはじめ、様々な体験学習など幅広い学びを通してキャリアガイダンスを充実させ、社会の一員として職業観、勤労観を培う。 (2) 第2・3学年では、課題研究やテーマ学習を行う等、個々の適性に応じた進路実現に向けた具体的な学習活動に取り組む。 3 特別活動・部活動等 (1) 文化祭・陸上競技大会・球技大会等の学校行事は、生徒会が中心となり、主体的に企画・運営している。入学後の「ペーロン競漕」（相生ペーロン協会と提携）は、伝統行事として定着している。 (2) 「文武両立」を教育目標に掲げ、運動部では、男子バスケットボール部、女子バレーボール部、水泳部が近畿大会に出場し、全国大会出場を視野に入れ活動している。また、伝統あるラグビー部をはじめ、他の部も活発である。文化部では、県下唯一の雅楽部や小学校や地域で演奏活動する音楽部など幅広く活躍している。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒。 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や特別活動・部活動・地域活動に意欲的に取り組み、高等学校においてもその意欲が継続できる生徒。 3 高等学校入学後、環境分野の学習活動に意欲的に取り組み、幅広い視野と問題解決能力を身につけ、地域・社会に貢献していきたいと考えている生徒。
その他の取り組み	1 習熟度別授業や少人数授業を多く取り入れ、細やかな指導により、個々の学力向上を図っている。また、多様な選択科目を設定して、生徒の進路希望に対応している。 2 「原子力セミナー」「異文化セミナー」など、大学等から特別講師を招聘した授業に取り組んでいる。また、県民局・県立大学の指導を受けて、「明石市内のため池の水質調査」について研究し、その成果を日本化学会にて発表した。

学 校 名	県立赤穂高等学校
特 色	本校は、「質実剛健・礼譲敬愛・自主創造」の校訓のもと、郷土を愛する心を養い、地域を支える将来のリーダーとしての資質を備えた人材の育成や「夢」や「志」を抱き未来を切り開く人間の育成を目指している。このため、地域の学校として地域社会と積極的な交流を行うなど特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 生徒の多様なニーズに対応し、第1学年から「総合科学探究類型」を設置し、体験型学習の中から、課題を解決するために必要な「思考力」・「判断力」・「表現力」等自ら学び自ら考える力を養うとともに、科学について主体的に研究する姿勢を身につける。 (2) 「総合科学探究類型」の特色 ① 第1学年では学校設定科目「科学探究Ⅰ」を設置し、地元企業である製薬会社では昆虫の生態について、化学工業では海水の成分分析について、耐火工場では新素材の特性等について、工場見学・実験・講義をとおして学び、自然科学に対する関心を高める。 ② 第2学年では学校設定科目「科学探究Ⅱ」を設置し、近隣大学などから講師を招聘して特別講義を実施し、ロボット工学・レーザー光線等の専門的な知識に触れることにより、化学・物理分野の学問探究の態度を養い、積極的に探究する姿勢を身につけさせる。 2 総合的な学習の時間（キャリアデザイン学習） (1) 第1学年では、「進路学習」の時間として、自己理解・職業理解・学問理解を深めるとともに、社会人インタビューや生き方座談会を通して職業観や勤労観を育成する。また、「科学入門」として、少人数による理科の実験・観察を実施し、理科の基礎となる技能の修得を目指す。 (2) 第3学年では、自己の進路実現のために「進路実現講座」として、個々の志望に応じた進路研究に取り組む。また、グループ内での発表や小論文の相互批評などを通してプレゼンテーション能力の向上を高めることで、全員が国公立大入試に対応できる力を養う。 3 特別活動・部活動等 (1) 文化祭、合唱コンクール、体育大会、球技大会は生徒会が中心となって全生徒が主体的に取り組み、充実した活動を行っている。また、武道大会やダンス発表会も本校の伝統的な特色ある行事である。 (2) 部活動への入部率は高く、活動も活発である。剣道部、柔道部、弓道部、サッカー部、ソフトテニス部、野球部が県大会で上位進出し、近畿・全国大会で活躍している部もある。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、科学の分野に強い興味・関心がある生徒。 3 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、自己実現を図るとともに将来は学問の発展や地域社会に貢献する意志を持っている生徒。
その他の取り組み	1 基礎学力の向上を図るため、生徒の実態に応じて習熟度別授業や少人数授業を行っている。 2 就業体験事業（看護・医療・介護・育児体験等）や地域貢献事業（清掃活動・赤穂義士祭参加等）など地域と結びついた活動をすすめている。

学 校 名	県立伊和高等学校
特 色	本校は、校訓「自主・敬愛・創造」に基づき、人間的なふれあいを大切にする中で、生徒一人ひとりの個性を生かし、知・徳・体の調和のとれた人間性を育み、地域社会を支える人材や、共生社会の一員として主体的に行動できる人材の育成を目指している。 このため、本校は、保護者・地域・地元の小中学校等との連携を密にして一体となった教育活動を展開し、地域に信頼され親しまれる開かれた学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 人間の文化や自然環境の保全への問題意識を養い、将来の地域活性化に貢献する人材の育成を目指すために、第2学年から「人間環境類型」を設置する。 (2) 「人間環境類型」の特色 ① 人間の文化的な営みや自然と人との関わり、自然環境の保全等について学習する。 ② 学校設定科目「日本の文化」「環境科学」「自己表現」等を設置し、地域や日本の歴史・文化、人間と自然の共存の在り方等について探究する態度を育成するとともに、学習した成果を効果的に発表する表現力の育成を目指す。 2 総合的な学習の時間 (1) 第1学年では、福祉施設訪問・手話講座・介助体験等の福祉体験活動をととして、社会の中での自己の生き方・在り方について考え、自己有用感を高め、地域社会に貢献する姿勢を育成する。 (2) 第2学年では、地域の教育資源を活用した体験活動を実施し、地域の歴史文化に触れ、自己を見つめ直す機会とする。 (3) 第3学年では、自己実現のための課題を設定し、伝統芸能・芸術文化・ものづくり等の体験活動をととして、生涯学習の基盤づくりを行う。 (4) 文化祭や「総合的な学習の時間」発表会、地域の文化行事等において、日頃の取組の成果を発表する。 3 特別活動・部活動等 (1) 文化祭・体育大会等の学校行事では、生徒会が中心となって生徒が主体的に活動しており、保護者・地域に公開して地域の人々との交流を深めている。 (2) 生徒会、ボランティア部(青い鳥)が中心となり、地域貢献ボランティア活動(災害復旧ボランティア、運営スタッフとして地域行事に協力、地域清掃活動等)に積極的に取り組んでいる。 (3) 部活動の活性化を進めており、特にカヌー部は全国高校総体に連続して出場している。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒。 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、人間の文化的な営みや自然環境の保全等について強い関心を持っている生徒。 3 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮しようとする生徒。
その他の取り組み	1 4月当初の新入生にする集中学習、朝の基礎学力養成タイム、早朝・放課後・休日等を利用した補習や個別指導など学習習慣の定着や学習意欲の向上に向けた取組を行っている。また、国語・数学・英語については、習熟度に応じた少人数授業を実施している。 2 地元中学校との中高連携事業を年2回開催し、公開授業や本校の現状と取組についての情報交換や研究協議を行っている。また、近隣の小学校に出向いて、英語学習を中心とした交流活動も行っている。

学 校 名	県立上郡高等学校
特 色	本校は、創立１０５年の歴史と伝統を有し、「愛と誠」１汗２規律３奉仕の校訓のもと普通科・農業科・園芸科・農業土木科を併置する高等学校として、地域を支える人材の育成を目指している。 このため、地域の学校として地域社会との積極的な交流を行うなど特色ある学校づくりを推進している。 １ 教育課程 (1) 普通科において、生命科学に興味を持つ生徒を対象に、本校農業施設を活用し、実験・観察を通じて自然への理解を深めることにより、科学技術を活用して社会に貢献する人材を育成するために、第２学年より「生命科学探究類型」を設置する。 (2) 「生命科学探究類型」の特色 ① 第２学年から物理・化学・生物の３分野をすべて選択可能とする。 ② 第２学年では、園芸科のバイオテクノロジー関連施設を活用した学校設定科目「生命科学」を設置し、大学教授の授業や様々な実験・観察を取り入れた授業を展開する。 ③ 第３学年では、学校設定科目「環境科学」や「理科課題研究」等を設置し、少人数に分れ自ら研究テーマをみつけ、実験・観察を通じて生命や科学の理解を深め、論文作成やプレゼンテーション発表を行う。 ２ 総合的な学習の時間 学校設定科目との連携を図りながら、生命科学の興味・関心を深め、学び、表現する力を身につけさせる。また、自らの進路を選択・決定できる能力や態度を養うキャリア教育を進める。 (1) 第１学年では、生命科学について調べ学習や自然観察を行い生命についての理解を深める。 (2) 第２学年では、博物館や大学の研究室を訪問し、生命科学の理解を深める。また、地域の小中学生向けサイエンススクールを実施して学習成果を発表する。さらに、修学旅行において訪問地の文化や環境について学習する。 (3) 第３学年では、他の類型の生徒たちとグループ討議を行い、「理科課題研究」の研究内容を説明し表現力を身につける。 ３ 特別活動・部活動等 (1) 体育祭や文化祭等の行事において生徒が主体的に取り組んでいる。 (2) 科学研究会を中心に地域サイエンススクールを開催し、自然観察や生命科学の実験を行い、地域の小中学生の理科学習を支援している。 (3) 近畿大会連続出場中の弓道部や毎秋に開催される西播駅伝の会場校を務める陸上競技部など部活動も活発である。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒。 １ 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 ２ 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、科学に興味を持ち主体的に学習しようとする生徒。 ３ 高等学校入学後も生命科学探究類型の学習に積極的に取り組み自己実現を図るとともに、地域社会に貢献する意欲のある生徒。
その他の取り組み	１ 高校生地域貢献事業として災害ボランティアや災害募金、地域清掃、附属農場での幼稚園児・小学生・特別支援学校生の食品加工、乳牛飼育、草花の栽培やいも掘り等の農業体験を行っている。 ２ 環境学習に取り組み、地域の方々と千種川の支流の環境調査や希少植物「チスジノリ」の継続観察を行っている。

学 校 名	県立山崎高等学校
特 色	本校は今年度創立１０３年目を迎える伝統校であり、「希望・英知・敬愛」の校訓のもと、地域と一体となって、社会の変化に対応でき、こころ豊かにたくましく生きていく人間の育成を目指している。 このため、普通科・森林環境科学科・生活創造科の３学科がそれぞれの特性を活かしつつ、人間としての在り方生き方への自覚を深めさせ、人間的なふれあいのもとに生徒一人一人の多様な個性と創造性を伸ばす教育の充実を図るとともに、家庭・地域と一体となって生徒の「生きる力」を育み、地域から愛され、信頼される特色ある学校づくりを推進している。 １ 教育課程 (1) 人文・社会科学、自然科学を主体的に学び、総合的な学力を培うことを希望する生徒を対象に、第２学年から「文理科学類型」を設置し、将来、地域を担うリーダーとして社会に貢献できる人材の育成を図る。 (2) 「文理科学類型」の特色 ① 学校設定科目「文理科学基礎」を設置し、将来を見据えて主体的に幅広い教養と知識を身につける。とりわけ、言語文化に対する関心を深め、コミュニケーション能力や論理的思考力、科学的に考察し表現する能力や態度を養う。 ② 学校設定科目「文理科学探究」において、山崎町の森林環境等の課題について、大学教員、地域人材、卒業生等を招いて特別授業や講演を実施し生きた実践を学ぶとともに、ディベートやディスカッション等を弾力的に取り入れ、自ら学び、考え、発信する力を育成する。 ③ 長期休業中に大学、研究機関等を訪問し、各種の体験や研修を深めることにより学問探究の態度を育む。 ２ 総合的な学習の時間 「進路研究」のテーマのもと、生徒の発達段階に応じて、主体的に自らの進路を選び決定する能力を養うキャリア教育を推進する。 (1) 第１学年では、自己探求や学問探究などの活動を通して進路についての意識を高める中で自己の生き方や在り方について考えるとともに、進路ガイダンス等により自己実現を図るための学習活動の在り方を探究する。 (2) 第２学年では、大学や専門学校の体験授業等を通して知的好奇心を涵養するとともに、種々の学問分野と自己の適性について認識を深める。 (3) 第３学年では、各自の興味・関心や進路、適性に応じた講座を選択し、これに主体的に取り組むことによって知性や人間性を高め、進路実現のための発展的課題に取り組む。 ３ 特別活動・部活動等 (1) 文化発表会（文化祭）や体育大会などの学校行事は生徒会が中心となって企画・運営している。地域の人々も招待している文化発表会ではクラス対抗の合唱コンクールにも伝統と特色がある。 (2) 部活動は全般に活発で、運動部ではソフトボール、野球、バレー、卓球、柔道、剣道などが県、近畿レベルで活躍し、文化部では吹奏楽部が輝かしい成績を残している。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒 １ 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 ２ 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、リーダーシップを発揮した生徒。 ３ 高校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、高い志をもって学力の伸長と人格の形成に努め、将来の社会の発展に貢献したいと考えている生徒。
その他の取り組み	１ 少人数授業や習熟度別授業を展開し、生徒一人一人に分かる授業を徹底することで基礎学力の伸長と定着を図っている。 ２ 多様な選択科目を設置して、生徒の興味・関心や進路目標を大切にした教育活動を行っている。

学 校 名	県立出石高等学校
特 色	本校は平成１９年に創立１００周年を迎えた伝統校であり、「至誠・剛健・敬愛」の校訓のもと、「地域に信頼される地域の学校」「生徒の夢を育み夢を叶える学校」として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、それらの調和を図りながら、「生きる力」をもった人材の育成を目指している。 このため、平成２３年度より生徒の興味・関心及び進路希望等に対応した新たな４類型を設置するなど、すべての生徒が明確な目標のもと、生き生きとした明るい学校づくりを展開する特色ある学校づくりを推進している。 １ 教育課程 (1) 第１学年より文理探究類型を設置する。興味・関心を持った職業探究や地域社会の諸課題の整理や考察をおこない、将来的な地域社会のリーダーの育成を目指し、地域社会と連携のもと特色ある教育を推進する。 (2) 「文理探究類型」の特色 ① 第１学年で学校設定科目「文理探究Ⅰ」を設置し、さまざまな職業や学問調べをおこない、その中から自分の興味・関心を持った職業について探究し、自分自身の将来を考えさせる。まとめとして解説とスライドを作成し校内発表会を実施する。 ② 第２学年で学校設定科目「文理探究Ⅱ」を設置し、但馬地域を拠点に活躍する人物や団体について学ぶことを通して現在の自分を見つめ直す。また、近隣機関と連携し地域社会の諸課題の整理・考察・ビジョン構築等を行い、レポートを作成する。 ③ 生徒会活動、部活動、さまざまな学校行事を通して、学校の中核意識を高揚させ、リーダーシップを発揮させる。 ２ 総合的な学習の時間 学校設定科目との連携を図りながら、生命科学の興味・関心を深め、学び、表現する力を身につけさせる。また、自らの進路を選択・決定できる能力や態度を養うキャリア教育を進める。 (1) 第１学年では「自己を知る」をテーマに自分自身の将来を考える。職業調べを通して自分の興味・関心を持った職業について探求する。 (2) 第２学年では「視野を広げる」をテーマに歴史・文化・地理・地域産業などを調べる。また、修学旅行先の沖縄での平和学習を通じて、平和の尊さを考える。面接練習や自己表現、志望動機を掘り下げ進路開拓の基礎力を養う。 (3) 第３学年では「進路実現」をテーマにさまざまな課題に取り組み、大学研究、専門学校の研究や職業研究を行う。３年間の共通のテーマである「職業観」の育成と「生き方」を考える。 ３ 特別活動・部活動等 (1) 運動部は陸上競技部が近畿インターハイや全国インターハイなどに出場。空手道部も近畿・全国へと躍進している。さらに、野球部が第８０回選抜高校野球の２１世紀枠候補校兵庫県代表に選出されるなど特筆すべき実績を有す。 (2) 文化部は県下唯一の陶芸会館を活用して全国総合文化祭への常連となる。伝統ある書道部は県総合文化祭や各全国展で優秀団体賞や個人特別賞も数多。美術部や吹奏楽部など活発な活動をしている。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒。 １ 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 ２ 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、地域社会の活性化に興味・関心がある生徒。 ３ 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、自己実現を図るとともに、将来は地域社会のリーダーとして貢献することを希望する生徒。
その他の取り組み	１ 習熟度別授業や少人数指導など設定して個々の充実を図っている。 ２ 学習合宿をはじめ、各補習など充実した特別活動を実施している。 ３ 大学教授等を講師に地域の人と共に学ぶ地域オープン講座を開講している。 ４ 各種ボランティア、看護実習、ＰＴＡ合同バザー、ふれあいコンサート、町内清掃など各種の体験活動を実施している。

学 校 名	県立村岡高等学校
特 色	本校は、「人みな使命あり」を教育指針とし、「英知・自律・友愛」の校訓のもと、学力の向上、自律の精神の涵養、敬愛と協調の態度の育成を方針として、これからの但馬を創造する地域のリーダーとなる心豊かな人材の育成を目指している。 このため、少人数指導を中心とした個を生かす学習指導や主体的に進路選択する能力の育成指導だけでなく、地域の教育資源を効果的に活用するとともに、生徒が但馬の「山、大地、水」を大切にし、ふるさとに誇りを持ち、社会貢献する参画意識を高める特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 但馬の自然、文化等に興味・関心を有する生徒を対象に、第2学年から「地域創造類型」を設置し、自然、文化、風土等に関わる知識・情報・技術を習得させ、将来の自己実現に向けた確かな学力を身につけ、課題解決のために主体的に考え行動するたくましい人材の育成を目指す。 (2) 「地域創造類型」の特色 ① 第2・3学年に特色ある科目として学校設定科目「地域探究Ⅰ」「地域探究Ⅱ」等を設置し、但馬の自然、文化、風土等についての学習を通して、ふるさとに誇りを持ち、将来、但馬地域に貢献する人材の育成を目指す。 ② 生徒の知識・技術の向上や意識の高揚につなげるため、但馬の企業経営者、近隣の大学教授等による特別講義、夏季セミナーへの参加、地域の教育委員会や但馬の関連各団体との連携を進め、生徒の探究する態度の育成を図る。 2 総合的な学習の時間 (1) 第1学年では、「自己探求Ⅰ」をテーマとして現在までの自己を振り返り、基礎学力の定着を図ることで生きる力を培い、進路開拓の視野を広げ、地域貢献への参画意識を育む。 (2) 第2学年では、「自己探求Ⅱ」をテーマとして確かな学力に加え、進路意識の高揚を図り、各自で進路目標の設定を行い目標達成のための方策を考えさせる。また、地域貢献への意識を高めるとともに参画につなげる。 (3) 第3学年では、「進路探求」として発展的な学習を目指し、複数の講座の中から自らテーマを設定し、調査・体験・考察などを行い、進路実現を図るとともに地域貢献に参画する。 3 特別活動・部活動等 (1) 学校祭、球技大会等を生徒会が中心となって企画・運営するなど、自主活動が活発である。特に文化祭における全クラス演劇では、「生き方」をテーマとした作品を創り上げ、感動的な行事となっている。 (2) 部活動への入部率は99%を超える。運動部ではバレーボール部、バスケットボール部が県大会上位に進出し、スキー部は県総合体育大会で総合優勝を続け、全国大会に出場している。また、親子ボランティア活動として、ほぼ全員の生徒・保護者が参加し地域清掃活動を実施し、地域になくてはならない高校として評価を得ている。
生徒に求める要件	次の全ての要件を満たす生徒 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、但馬の自然、文化等に強い興味・関心がある生徒。 3 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、深い学びを追求し、将来は地域・社会の発展に貢献したいと考えている生徒。
その他の取り組み	1 平成9年度から地元中学生・高校生・一般町民が参加する合同芸術祭を実施している。企画・運営を高校生が担当し、一般公開することで地域文化の発展に貢献している。 2 学校設定科目「アウトドアスポーツ」を設置し、ゴルフやスキーなど地域にあるスポーツ施設を有効に活用している。

学 校 名	県立洲本高等学校
特 色	本校は、創立113年「至誠 勤勉 自治 親和」の校訓を日常の指導に具現し、先輩の築いた荣誉ある伝統を踏まえ、21世紀に生きる有為の人材として必要な資質を備えた人間の育成を目指している。 このため、文武両道を志向し、共通する目標をもった生徒たちがともに鍛え、磨き合うことにより、社会の一隅を照らす各界のリーダーとしての資質を備えた人材育成を目的とする特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 多様な学習ニーズに対応できるよう、自然科学及び社会科学・人文科学を基礎から主体的に学び、総合的な学力を培い地域に貢献できる人材を育成するため、第1学年から「総合探究類型」を設置し、様々な分野で物事を科学的に考え課題を解決できる資質と創造力を持った人物の育成を図る。 (2) 「総合探究類型」の特色 ① 第1学年から、学校設定教科「総合探究」を設置する。第1学年では学校設定科目「数理探究」及び「人文探究Ⅰ」のいずれかを選択し、科学的・論理的思考力、国語・英語の読解力・表現力の基礎を学ぶ。第2学年では「数学探究」・「理科探究」及び「人文探究Ⅱ」のいずれかを選択し、淡路地域の自然環境や地域の産業等の課題も含めて、自ら課題を見つけ科学的・論理的に思考し、課題を解決する能力を向上させる。 ② 第1学年から、大学・研究機関への訪問、大学教員による出前授業等を積極的に取り入れ、最先端の科学・研究成果を学ぶ機会を設ける。また第2学年では、サイエンスパートナーシッププログラム（高大連携事業）を発展的に継続し、科学的・論理的思考を高め、主体性及びリーダーとしての資質向上を図る。 2 総合的な学習の時間 「自己のしんか（深化、進化、真価）」をテーマに次の内容に取り組む。 (1) 第2学年では、「自己の在り方、生き方を考える」をテーマに、進路研究を深め、小論文作成を通して主体的な生き方、豊かな人間性を育む。 (2) 第3学年では、第2学年での学習を土台とし、興味・関心・進路希望に応じて、設定された多くの講座から適切な講座を選択し、知識・技能の深化、総合化を図る。さらにそれぞれの類型において進路実現のための発展的な課題に取り組むことにより、総合的な学力、問題解決能力を培う。 3 特別活動・部活動等 (1) 新入生歓迎登山や文化祭、コーラス大会、体育会などの諸行事は生徒自らの力によって企画・運営されている。このような主体的な活動を通して、自ら考える人間が形成されている。また、生徒の読書活動についての理解と関心を深めるとともに、生徒が積極的に読書活動を行う意欲を高める実践が認められ、文部科学省より「平成22年度読書活動優秀実践校」として表彰を受けた。 (2) 生徒の90%以上が部活動に所属しており、熱心に活動している。写真部、新聞部、邦楽部、放送部、野球部、陸上競技部、卓球部、ボート部、バレー部等が全国大会・近畿大会以上で輝かしい成績を残している。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒 1 本校の特色を理解し、入学の意志・志望動機が明確な生徒 2 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組んだ生徒 3 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組み、社会の一隅を照らす各界のリーダーとして貢献したいと考えている生徒
その他の取り組み	1 学力向上プロジェクト事業の研究指定を受け、学習状況アンケート・週課題提示等による基礎学力向上、公開授業の拡充・習熟度別授業の実施・生徒による授業評価等による授業改善、また、シラバス改善・大学出前授業・同窓生による職業講話による進路指導の充実に取り組んでいる。 2 インスパイア・ハイスクール事業において、地域児童・保護者を対象に理科を楽しむ講座を開催し、地域貢献にも取り組んでいる。

学 校 名	県立家島高等学校
特 色	本校は、校訓「自律・敬愛・創造」のもと、地域に生きる次代の担い手としての自覚と責任を持ち、自らが主体的に判断し行動できる、人材の育成を目指している。 このため、地域社会と連携協力しつつ、地域に愛され信頼される学校を目指し、地域の自然環境や教育資源を活用した特色ある教育活動を展開する等特色ある学校づくりを推進している。 1 教育課程 (1) 幅広い進路実現や地域の活性化に貢献できる人材の育成を目指すために、第1学年から2つの類型「海と科学類型」及び「海と人間類型」を設置する。 (2) 「海と科学類型」及び「海と人間類型」の特色 ① 「海と科学類型」は、特色ある学校設定科目「海の生物」「海洋科学」「海洋スポーツ」「数学探究」等を設置し、県立いえしま自然体験センター等と連携した授業や体験活動を実施し、将来、水産・海洋科学・生物学等への進路実現を目指す。 ② 「海と人間類型」は、特色ある学校設定科目「環境科学」「健康福祉科学」「地域社会」「英語探求」等を設置し、環境、社会学、人間科学等の分野への進路実現を目指す。 ③ 両類型とも地域の活性化のために課題を見つけ、解決できる力を育成する。また、家島B&G海洋センターと連携し、ヨット、カヌーの実習やスキューバダイビングのライセンス等の取得に向けた学習も行う。 2 総合的な学習の時間 (1) 第1学年では、職業観を培うために、自己の在り方生き方や進路について考察する。また、地域美化活動を通じて環境への関心を高める。 (2) 第2学年では、大学・専門学校・企業による進路別説明会等を通して、さまざまな学校や職業に対する関心を高め、理解を深める。 (3) 第3学年では、各自の進路に応じた課題研究等を行い、プレゼンテーション能力や進路実現につながる総合的な力を育成する。 3 特別活動・部活動等 (1) 海洋スポーツ大会、千種高校との交流会、西島でのディキャンプ、島の地場産業（海運業・造船業）学習会等の海に囲まれた学校ならではの学校行事を実施している。 (2) 地域の伝統行事（獅子舞等）を学校行事に組み込み、幼稚園や福祉施設等と連携した教育活動を実施している。 (3) 地元の中学校への出前授業や中高合同の部活動練習会、芸術鑑賞会、授業研究会等を実施する等、中高連携を積極的に進めている。
生徒に求める要件	次のすべての要件を満たす生徒。 1 本校の特色を理解し、入学の意志及び志望動機が明確な生徒。 2 中学校の学習活動や特別活動に意欲的に取り組み、水産、海洋、生物、環境等の分野について興味・関心がある生徒。 3 高等学校入学後、類型の学習に積極的に取り組もうとする生徒。
その他の取り組み	1 英語・数学・国語・情報等で習熟度別授業やチーム・ティーチング、少人数授業を取り入れ、一人一人の個性や能力を伸ばす教育を行っている。 2 小型船舶操縦士免許、情報処理、日本語ワープロ、英語検定、漢字検定等の資格取得を推進し、一人一人の自己実現を図っている。

〔参 考〕平成23年度兵庫県公立高等学校入学者選抜における特色選抜の実施について

1 趣 旨

生徒が自らの能力・適性、興味・関心等に応じて、学びたいことが学べる学校選択を行うことを支援するため、全日制普通科のうち教育課程や学びの内容等において特色ある学校づくりが進んでいる学校で、その特色ある教育内容に即して、生徒の多様な個性や優れた点と合わせて、特別活動や学校外での活動なども評価する特色選抜を実施する。

2 実施する学区

すべての学区（16学区）で実施

（平成22年度と同じ類型で特色選抜を内容で実施する高等学校については別紙）

3 募集定員

各学校の募集定員の15%以内とし、その割合は高等学校長が定める。

ただし、最大は40人とする。

※ 県立家島高等学校においては、特例として募集定員の50%（20人）を募集する。

4 通学区域

普通科の学区とする。

※ 県立家島高等学校においては、特例として県下全域から募集する。

5 選抜の実施時期

例年2月に実施しているコースや専門学科等の推薦入学の期日とあわせて実施する。

6 出願資格

- (1) 当該高等学校の特色ある教育内容を理解し、当該高等学校で学習する強い意欲を持つこと。
- (2) 当該高等学校長がその特色ある教育内容に応じて定める要件を満たすこと。
- (3) 受検者本人が志願理由書を提出すること。（中学校長の推薦は要しない。）

7 面接・実技検査等

それぞれの志願先高等学校において面接を実施する。また、必要に応じて実技検査、小論文（作文）を実施することができる。

8 合否の判定

当該高等学校の特色ある教育内容に即して、面接及び実施した検査等の結果と調査書を総合して合否の判定を行う。

平成２２年度入学者選抜までに既導入の特色選抜の実施校

(１) 神戸第三学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立星陵 高等学校	生命科学類型： 大学教授による講義や、大学での実習等高大連携による学習や二時間連続の実験・実習等を通して、生命科学や自然科学を主体的・体験的に学ぶことにより、科学的思考力や判断力、表現力を身につけた生徒の育成を図る。 特色ある科目：「物理の探究」「化学の探究」「生物の探究」
県立伊川谷北 高等学校	芸術類型： 大学教授等による特別講座や芸術に関する様々な学習活動への主体的な取り組みを通して、感性や創造性を育むとともに豊かな心と人間性の涵養を図る。 特色ある科目：「吹奏楽演習」「生活美術」「実用書道」等
県立伊川谷 高等学校	情報類型、国際理解類型： 情報処理能力などを身につけさせ、情報社会に対応できる生徒の育成及びアジアの国々の文化・語学学習などを通して国際社会に対応できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「情報理論、演習」「ハングル」「中国語」「アジア地誌」等
県立神戸高塚 高等学校	ソシオヒューマン類型、コミュニケーション類型、クリエイション類型、スタンダード類型： 社会人講師による授業や情報機器の活用、様々な人々との交流など幅広い学びを通して、社会の一員として意欲的に行動できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「ボランティア実践」「デジタルクリエイション」「環境科学」等

(２) 姫路・福崎学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立姫路別所 高等学校	自己探究類型： 福祉ならびに情報や商業等の資格取得に向けた学習を通して、共生の心や自他の生命を尊ぶ感情を身につけさせるとともに、自己実現に積極的に取り組む生徒の育成を図る。 特色ある科目：「ボランティア実践」「家庭看護・福祉」「情報活用」等
県立姫路南 高等学校	音楽・スポーツ類型： 様々な音楽活動やスポーツ活動に主体的に参加することにより、感性や情操、創造性や協調性などを身につけた豊かな人間性をもった生徒の育成を図る。 特色ある科目：「ソルフェージュ」「声楽」「演奏法」「体づくり運動」等
県立網干 高等学校	国際文化交流類型： 外国語のコミュニケーション能力を高めるとともに、日本や諸外国の文化に興味と関心を深めることにより、国際交流に意欲的に取り組む生徒の育成を図る。 特色ある科目：「国際文化」「日常英語」等

県立神崎 高等学校	福祉教養類型、健康スポーツ類型： 自らの興味や関心に基づいた体験学習や教科活動に積極的に取り組むことにより、自らの可能性ややりがいを見出せるような教育活動を実施する。 特色ある科目：「コミュニケーション授業」「ボランティア実践」「ニュースポーツ」等
県立夢前 高等学校	地域スポーツ類型： 地域に根ざしたチームスポーツの基礎・実践・応用の学びをとおして、地域清掃やボランティア活動、小中学生へのスポーツ支援や地域のスポーツ活動と協力し、地域活性化の一翼を担う生徒の育成を図る。 特色ある科目：「VITAL SPORTS I・II・III」

(3) 加印学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立高砂 高等学校	スポーツ類型、看護医療類型： 人の健康を科学的にとらえ探究し、長寿社会の中で活躍する意識をもった生徒を対象に体験的な学習を実施する。 特色ある科目：「生涯スポーツ演習」「看護医療基礎」等
県立高砂南 高等学校	自然科学探究類型、総合文化類型： 高大連携授業により科学に対する関心や探究心を高め、科学的な見方や考え方の基礎を培ったり、国際感覚豊かな広い視野を持つために、国際的な視点に立って健康や運動、文化の面から人間をとりまく環境を科学的に学習する。 特色ある科目：「コスモサイエンス」「国際理解I・II」「人間科学I・II」等
県立松陽 高等学校	地域スポーツ類型： 総合的な学習の時間の活用や高大連携により、スポーツ等を通して地域に貢献できる人材の育成等を目的とする学習を実施する。 特色ある科目：「地域スポーツ」「選択体育」等
県立東播磨 高等学校	自然科学類型、コミュニケーション類型： 表現力やコミュニケーション能力を高めるための体験学習や、科学的思考力を養い自然科学分野における問題解決能力を養う学習等を実施する。 特色ある科目：「自然科学基礎」「現代文学研究」「古文名作鑑賞」等
県立播磨南 高等学校	芸術類型： 音楽・美術に関するさまざまな学習活動に主体的に取り組み、質の高い幅広い活動を通して生涯にわたり芸術を愛好する心を育てるとともに、芸術系大学との連携により、創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばす。 特色ある科目：「ソルフェージュ」「演奏法」「クラフトデザイン」等
県立加古川西 高等学校	文理探究類型： 人文・社会科学、自然科学の幅広い分野において企業や大学と連携した実践的な講義や演習、実践などの探究活動をとおして、自己実現を図るとともに、社会の発展に貢献できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「自己創造」「課題研究」

(4) 北播学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立西脇 高等学校	科学教育類型： 将来、科学技術や理科・数学教育の分野に携わることを目指す生徒を対象に、自然科学分野におけるものの見方と創造性、研究心を培うとともに、コミュニケーション能力や倫理性を養う。 特色ある科目：「科学教育」「理数探究」「コミュニケーション論」等
県立多可 高等学校	福祉ボランティア類型： 福祉の専門科目の学習や、地域の福祉施設・幼稚園等と連携した体験学習及び総合的な学習の時間における地域福祉をテーマにした学習等を通して、「福祉のこころ」を育む。 特色ある科目：「表現活動」「社会福祉演習」「ボランティア実践」等
県立吉川 高等学校	情報芸術類型： 情報処理・文書処理等の情報の基礎を発展させ、短編アニメやコマーシャル動画の制作など画像や映像を処理する能力の育成を図るとともに、情報モラルについても学ぶ。 特色ある科目：「情報芸術」「映像表現」等
県立北条 高等学校	教育類型： 幼稚園・小学校や病院・福祉施設と連携した交流活動や大学の講師を招いての出前講義などを通して、教育・福祉に携わる者としての意識や心構えを身につけた上で、社会に貢献できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「教育入門」「教育実践」「教育課題の探求」等
県立三木北 高等学校	人と環境類型： 大学・病院・保育所等の施設における特別講義及び体験活動等とおして、幅広い視野で人と環境の関係を考え、環境・医療・看護・福祉・保育等の分野での社会貢献をする生徒の育成を図る。 特色ある科目：「環境の科学」「環境と保育」「国際理解」
県立社 高等学校	看護医療類型： 看護や医療の施設訪問や病院実習などの体験活動とおして、思いやりの精神やボランティア精神等を身につけ、将来看護・医療の分野に携わり社会貢献する生徒の育成を図る。 特色ある科目：「看護医療学基礎」「看護医療学総合」

(5) 尼崎学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立尼崎 高等学校	教育総合類型： 地域の幼稚園・小学校・中学校との交流体験及び教育系の大学・専門学校との連携による教育活動など、教員として必要な資質を高めるための実践的な学習に取り組むことで、将来、地域の教育活動に従事する生徒の育成を図る。 特色ある科目：「教育体験」「教育探求」「教育情報処理」等
県立尼崎北 高等学校	国際環境類型、環境科学類型： 高大連携を活かし、環境に関する講演会やテレビ会議システムによる講義の受講等により、積極的に社会貢献に寄与する意欲や態度を養成することで、将来、環境の分野においてリーダーシップを発揮できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「環境科学」「国際環境」「環境倫理学」等

県立尼崎西 高等学校	自然科学探究類型： 身近な環境や自然災害の科学、生命倫理、ものづくり等に関する調査や実習、実験等により、人間と自然の関わりへの理解を深め、科学に対する関心や探究心を高めることで、科学的なものの見方や考え方の基礎を学ぶ。 特色ある科目：「ゆめサイエンス」「地球環境学」「科学データ処理学」等
市立尼崎 高等学校	国際総合類型： 英語やＩＴにおいて実践的な学習活動に取り組むことで、国際的な視野を持ち、コミュニケーション能力や科学的な思考力を身につけた社会に貢献できる生徒を育成する。 特色ある科目：「ＩＴの広場」「数学探究」「オーセンティックイングリッシュ」等
市立尼崎双星 高等学校	音楽類型： 音楽に関する様々な学習活動に主体的に取り組むことにより感性や創造性を養うとともに、音楽系の大学等と連携することにより技術の向上も図ることで、将来、音楽に携わる分野で社会に貢献できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「ソルフェージュ」「音楽理論」「演奏法」

(6) 明石学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立明石 高等学校	生命科学探究類型： 生物学の基礎や生命倫理観を習得する学習や、大学や研究機関と連携した最先端の生命科学についての学習等を通して、探究心や科学的思考力、問題発見・解決能力を育成することで、強い倫理観や高い社会性を備えた生徒を育成する。 特色ある科目：「生命科学基礎」「生命科学実験」
県立明石西 高等学校	教育類型： 将来、教育の分野に携わることを目指す生徒を対象に、体験型の学習を重視するとともに、環境や国際問題、福祉など現代社会の様々なテーマについて学ぶことで幅広い視野と正しい価値観をもって教育関係で貢献できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「教育Ⅰ」「教育Ⅱ」等

(7) 西宮学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立西宮甲山 高等学校	教育総合類型： 次代を担う子どもたちの育成に携わる希望を持つ生徒を対象に、地域の園児・児童との交流体験や大学の教員による授業を取り入れ、「人を育む・支える」ことを大切にする資質を持った生徒の育成を図る。 特色ある科目：「教育基礎」「心理学基礎」「リトミック」等
県立西宮南 高等学校	環境とコミュニケーション類型： 実習・観察を重点とした環境に関する科目を学ぶとともに、ディベートなどを通して情報伝達力を身に付け、将来、地域の活性化のための情報を発信できる生徒の育成を目指す。 特色ある科目：「環境」「コミュニケーションⅠ」等

市立西宮 高等学校	人間探究類型： 人文科学や社会科学分野における大学や研究機関との連携・交流を深め、広い視野と豊かな表現力等を培うことで、将来、地域社会及び国際社会の中でリーダーシップを発揮できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「グローバル・シティズンズ」「グローバル環境論」等
--------------	--

(8) 伊丹学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立伊丹 高等学校	自然科学類型： 自然科学分野に興味・関心が高い生徒を対象に、実験・観察等を重視する学習活動に取り組むとともに、自己表現力を培うことによって、自らの将来を創造的に切り開いていこうとする生徒の育成を図る。 特色ある科目：「創造科学」「実験科学」「数学研究」
県立伊丹西 高等学校	総合ヒューマン類型： 人と接する基本技術習得を基礎として、医療・福祉施設訪問や保育所実習などの体験学習を行うことで、将来、医療・看護・福祉・保育の分野に携わり社会貢献できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「ヒューマン基礎」「看護福祉」「発達と保育」
県立川西緑台 高等学校	数理探究類型： 数学・理科に関するテーマに基づく学習により真理や本質を究める力や独創性を身につけるとともに、大学・研究所等の訪問や大学との連携により、論理的思考力を高め、探究心の育成を図る。 特色ある科目：「数学探究」「解析力学」「化学詳論」「生命環境」等
県立川西明峰 高等学校	国際情報類型： 海外とのテレビ会議等による情報交換、文化の交流を通じて情報機器を利用した英語運用力やコミュニケーション能力等の向上を目指し、将来、国際的な視野を持ち社会で貢献できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「国際情報Ⅰ」「国際情報Ⅱ」
県立川西北陵 高等学校	科学教育類型： 将来、理科数学の教育分野や科学技術に携わる職業を目指す生徒を対象に、実験、課題研究や論文作成・発表に取り組むとともに、大学との連携などにより自然科学分野におけるものの見方や探究心を培う。 特色ある科目：「科学教育研究」「自己デザイン」
県立猪名川 高等学校	教育コミュニケーション類型： 幼児、児童教育等の分野に興味・関心がある生徒を対象に、保育園や幼稚園における実習体験や小学校等との交流活動を通じて、教員として必要な基礎となるコミュニケーション能力を培い、地域に貢献できる生徒の育成を図る。 特色ある科目：「発達と保育」「家庭介護・福祉」「国語表現Ⅰ」

(9) 神戸第一・芦屋学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立東灘 高等学校	医療・看護・保育類型： 医療看護系、保育士、幼稚園・小学校の教員等を志望している生徒を対象に、保育体験や大学等との連携による授業、実習等をおとして、人の気持ちや痛みの分かる共生社会の実現に取り組む生徒の育成を図る。 特色ある科目：「家庭看護・福祉」「発達と保育」「演奏法」等

(10) 神戸第二学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立夢野台 高等学校	教職類型： 教職に就くことを目指す生徒を対象に、小中学校との連携による実習や高大連携による授業等とおして、夢の実現に向けて高い意欲と実践力をもつ生徒の育成を図る。 特色ある科目：「教職体験」「教育実践」「教育探求」
県立兵庫 高等学校	総合科学類型： 社会科学や自然科学を主体的・総合的に学ぶとともに、大学への訪問学習や出前講義、実験実習等とおして、将来、学問の発展や社会の発展に貢献し、未来を創造する人材の育成を図る。 特色ある科目：「創造基礎」「創造応用」
県立神戸北 高等学校	福祉ボランティア類型： 福祉、保育、看護に関する基礎的知識の学習や地域との連携による実習、大学の特別講義等とおして、将来、福祉・保育・看護等の分野に携わる生徒やスポーツを通じて社会に貢献する生徒の育成を図る。 特色ある科目：「生活福祉実践」「保育音楽」「基礎学習Ⅰ・Ⅱ」等

(11) 宝塚学区

高等学校名	類型と特色 特色ある科目
県立宝塚 高等学校	人間探究類型、科学探究類型： 将来の自己実現に向けて課題に対する調査・研究・発表活動や、大学の特別講義等とおして、学問探究の態度を養い、問題解決に向けて主体的に考え行動する、たくましい生徒の育成を図る。 特色ある科目：「現代社会研究」「異文化探究」「自然科学研究」等
県立宝塚東 高等学校	総合健康類型： 大学教授による栄養学講座や看護学校の実習など、様々な角度から健康を考察することとおして、人の健康に関する分野で活躍し、地域社会に貢献する生徒の育成を図る。 特色ある科目：「健康総合Ⅰ」「健康総合Ⅱ」

<特色選抜における特色ある類型>

① 自然科学系

星陵（生命科学）、舞子（先進理工）、尼崎西（自然科学探求）、高砂南（自然科学探究）、東播磨（自然科学）、県伊丹（自然科学）、川西緑台（数理探究）、明石（生命科学探究）、赤穂（総合科学探究）、上郡（生命科学探究）

② 情報系

伊川谷（情報）、吉川（情報芸術）

③ 環境系

尼崎北（国際環境・環境科学）、西宮南（環境とコミュニケーション）、明石清水（人と環境）、三木北（人と環境）、伊和（人間環境）

④ 教育系

夢野台（教職）、県尼崎（教育総合）、西宮甲山（教育総合）、川西北陵（科学教育）、猪名川（教育コミュニケーション）、明石西（教育）、西脇（科学教育）、北条（教育）、三田西陵（子どもみらい）

⑤ 芸術・スポーツ系

伊川谷北（芸術）、市尼崎双星（音楽）、高砂（スポーツ）、播磨南（芸術）、松陽（地域スポーツ）、姫路南（音楽・スポーツ）、夢前（地域スポーツ）、神崎（健康スポーツ）

⑥ 看護・福祉系

東灘（医療・看護・保育）、神戸北（福祉ボランティア）、宝塚東（総合健康）、高砂（看護医療）、神崎（福祉教養）、伊丹西（総合ヒューマン）、多可（福祉ボランティア）、社（看護医療）

⑦ 国際系

伊川谷（国際理解）、市尼崎（国際総合）、川西明峰（国際情報）、網干（国際文化交流）

⑧ その他

兵庫（総合科学類型）、神戸高塚（ソシオヒューマン、コミュニケーション、クリエーション、スタンダード）、西宮北（科学探究・社会探究）、市西宮（人間探究）、宝塚（人間探究、科学探究）、加古川西（文理探究）、高砂南（総合文化）、東播磨（コミュニケーション）、姫路別所（自己探究）、家島（海と科学、海と人間）、山崎（文理科学）、出石（文理探究）、村岡（地域創造）、洲本（総合探究）

Ⅱ 特色ある専門学科の設置

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」に基づき、専門性の高い学びを実践しているコースを改編し、専門学科を設置する。

対 象 校	県立尼崎小田高等学校
設 置 学 科	[現行] 普通科 国際文化系コース 1 学級  [改編後] 国際探求学科（仮称） 1 学級
設 置 年 度	平成 2 4 年度（平成 2 4 年 4 月）
改 編 内 容	【学科の目標】 優れた英語の運用・表現能力を身につけるとともに、地球的規模の問題に対して科学的な視野をもちながら探求する姿勢を育み、異文化理解により自国や他の文化を尊重する態度と豊かな国際感覚を身につけ、主体的に国際社会に貢献できる人材を育成する。 【特色ある教育活動】 ・ 英語による暗唱・スピーチコンテスト、ディベート大会の実施 ・ 多文化理解を図るスタディーツアー及びプレゼンテーションの実施 ・ 国際文化交流、海外研修、異文化理解講演会の実施 ・ 環境などの地球的規模の諸問題を対象とした課題研究の実施 【特色ある専門科目（予定）】 「国際探究」、「総合英語」、「英語表現」、「時事英語」、「異文化理解」、「21 世紀の国際理解」、「科学英語表現」、「第 2 外国語（中国語）」など 【募集方法等】 推薦入学（募集定員の全部） 通学区域は、県下全域

Ⅲ 分校の本校化に伴う校名（仮称）について

○県立篠山産業高等学校東雲校

校 名	ささやま しのめ 兵庫県立 篠山 東雲 高等学校（仮称）
校名の選定理由	学校の位置する地名と、分校創立時からの「東雲」を組み合わせることにより、中学生や地元住民、県民にとってわかりやすく親しみが持てる校名とした。

（参考）平成２２年３月公表内容「分校の在り方」

対象校（対象学科）	県立篠山産業高等学校東雲校（農業に関する学科）
改 編 時 期	平成２３年度（平成２３年４月）から
改 編 内 容 等	【学科の名称】 地域農業科（仮称） 【学科の目標】 - 生産（ものづくり）や飼育を通して、地域課題の解決に積極的に取り組む姿勢を身につけ、地域社会や産業の発展を担い地域に貢献できる人材を育成する。 【特色ある教育活動】 - 興味関心、進路希望に応じた５つの種類の設置 （作物機械類型、ふるさと特産類型、野菜園芸類型、生物利用類型、生活環境類型） - 大学や研究機関、地元農家等と連携した特産物の研究 - 地元農家や施設での農業実習 【特色ある科目（予定）】 「稲作経営」、「特産物工学」、「生活教養」、「実用英語」、「実用数学」、「日本の文化」、「ボランティア実践」 【募集方法等】 推薦入学（募集定員の５０％以内） 学力検査（募集定員から推薦入学による合格者を引いた人数） 通学区域は、どちらも県下全域 【その他】 通学困難な生徒が地域の農家から通学する農村留学制度の実施